

押上・とうきょうスカイツリー駅周辺
まちづくり分科会（第13回）

鉄道高架と まちづくり パネル展示

「鉄道高架とまちづくり」をテーマに、とうきょうスカイツリー駅付近の鉄道高架化工事の現在の様子や鉄道高架のある他地区のまちづくりの様子、これまで地域の皆さんと行ってきたまちづくり分科会の様子などを、パネルや模型を使ってご紹介します。



駅前交通広場のイメージ図

高架化工事でこう変わる

踏切事故ゼロ、 まちの一体化のために

墨田区と東武鉄道(株)は、東武伊勢崎線(東武スカイツリーライン)とうきょうスカイツリーライン駅付近の、約0.9kmの区間を高架化する工事を進めています。

桜橋通りにある伊勢崎線第2号踏切を無くすることで、踏切事故の心配も無くなり、車や歩行者も安全に通行できるようになります。

これにより、鉄道で隔てられていた南北市街地の行き来がし易くなり、安全で便利なまちになります。

伊勢崎線第2号踏切の除却

Before
高架化前



After
高架化後



桜橋通りの渋滞の様子

伊勢崎線第2号踏切は1日の遮断時間が約8時間もあり、交通渋滞の原因となっています。

完成後のイメージ

踏切除却後は、交通渋滞が解消されて踏切事故の心配も無くなります。



新たなとうきょうスカイツリー駅



とうきょうスカイツリー駅も大きくし、ホームを2面にして3線が発着する駅にします。

駅前交通広場のイメージ



駅周辺を安全で便利に使えるよう、交通広場や歩行者用の道路を整備します。高架下の空間も生まれます。

高架化工事の進め方(仮線方式)と進捗状況

電車を走らせながら工事を進めます

この高架化工事は、完成まで約8年間かかりますが、できるだけ電車の運行を妨げることなく、限られた時間や狭いスペースで工事を進めるために、様々な工夫を行っています。

高架化工事の方法は、「仮線方式」と呼ばれる一時的に隣に仮の線路を設けて元々の位置に高架橋を作る方法を採用しています。電車の動いていない夜間が中心となるため、一度に約700人で線路の切替工事を行うこともあります。

また、とうきょうスカイツリー駅付近は、特急始発駅の浅草駅に近いこともあり、上下線本線のほかに留置線（一時に電車を待機させる線路）や保守施設も多くあります。この留置線を一時的に減らして、ダイヤも工夫することで高架化工事の用地を確保しています。

高架化工事へのご理解ご協力をお願いします。

事業の概要や高架化工事の映像をまとめた動画を墨田区公式YouTubeチャンネルで公開しています。



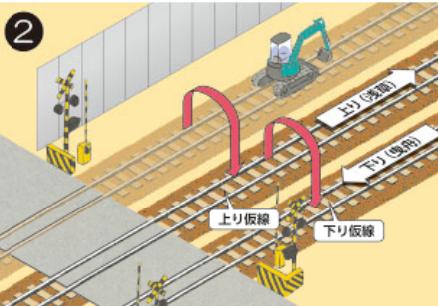
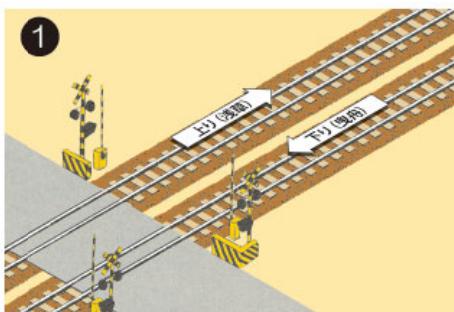
高架化工事の施工順序や平面図、断面図を掲載しているパンフレットです。

ご自由にお持ちください。

工事の進め方

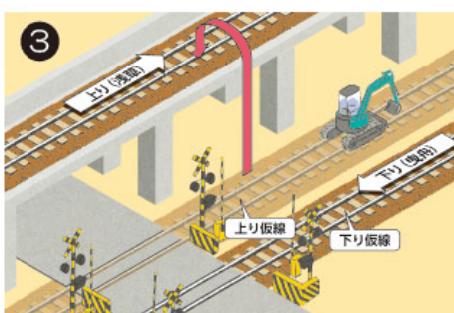
工事前・準備工事

工事前の様子です。上下合わせて2本の線路が走っていて、道路と交わる場所には踏切もあります。まずは、線路を移設するための準備工事（用地の確保、建物や設備の移設・撤去）を行います。



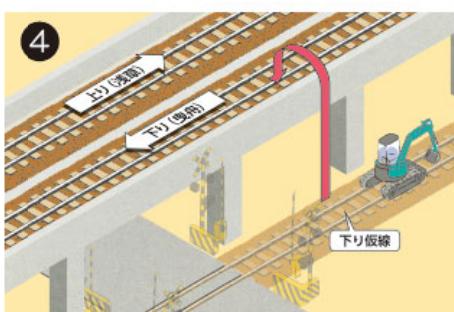
仮線化 (留置線、上下線)

元の線路の横に仮線を作り、夜間に切替え工事を行って線路をすらします。
平成30/2019年3月
留置線の仮線化完了
令和2年(2020)3月
上下線の仮線化完了



上り線高架化

元々の上り線のあった部分に高架橋を作ります。高架橋を支える基礎杭を作ってから、上り高架橋と上り駅舎・ホームを作つて、切替えます。



下り線高架化

地上の使わなくなった上り線部分を撤去して、下り高架橋を作ります。この事業では、留置線部分も高架化します。



踏切の除却・事業の完了

下り線が高架化すると、いよいよ踏切が無くなります。緊急車両も踏切を待たずにスムーズに走行できます。高架化工事の進展にあわせて、周辺の道路（高架下に新しい道路や駅前広場）や高架下を整備して、事業が完了します。

工事着手前（～2018年1月）

とうきょうスカイツリー駅付近には、国の基準を超えるボトルネック踏切（伊勢崎線第2号踏切）や歩道幅員が狭い言問通りがあります。これらを解消するために高架化工事に着手しました。まずは、周辺の家屋調査を行い、仮線化工事に必要な用地を確保するため、留置線付近の施設（建物や鉄道設備）の撤去・移転工事の計画を進めました。



【2016年5月】留置線付近の様子



【2017年12月】伊勢崎線第2号踏切



【2016年4月】言問通りの様子

仮線化工事（2018年5月～2020年3月）

工事用地を確保する撤去・移設工事を進めて、10線ある留置線を減線し、2019年3月に仮留置線に切替える工事を行いました。その後、鋼鉄製の仮高架橋を作ったり、土留めを兼ねた盛土構造の仮高架橋を作ったり、ホームを切取ったりして、上下線そのものを北側に移設する工事を進めました。2019年12月と、2020年3月夜間切替え工事を行って、上下線の切替えが完了しました。



【2019年5月】駅付近の工事状況



【2019年8月】仮高架橋の架設状況



【2019年10月】仮踏切の準備状況

上り高架橋工事（2020年4月～）

上下線が切替わった後は、踏切の遮断機や道路のカラー舗装の位置も新しい位置に変えました。使わなくなった線路を撤去して、工事機械・車両のための搬出入路を確保して、上り線（浅草方面）高架橋の建設に着手しました。墨田区では、地盤が軟弱な低地が広がっているため、基礎杭を地中40m深くまで打設することから始めます。線路に近接した工事が続くので、引き続き夜間作業を伴いながら、順次高架橋を築造していきます。駅付近では、作業効率化のため、スロープ状の搬出入路も設置しています。



【2020年6月】仮線化完了後の踏切



【2020年9月】搬出入口の確保状況



【2020年9月】基礎杭の打設状況

高架橋工事の進捗図 (令和2年10月時点)



【2020年3月】線路切替人工作業



【2020年9月】大型機械作業

アンケート

連続立体交差事業の紹介イベントとして
興味あるものを次の中から選んでください。

レールウォーク

“完成した高架橋の上を一足先に歩きたい”

工事見学ツアー

“鉄道工事の解説を生で聞きたい”

VR（バーチャルリアリティー）

“まちの将来を VR ゴーグルで見てみたい”

精細な鉄道模型（ジオラマ）

“電車も走るような模型にグレードアップ！”

高架化工事と沿線写真展

“沿線の歴史や工事の様子をもっと知りたい”

子どもが楽しめる催し

“非常停止ボタンや鉄道工事機械の体験”

映像・SNS の活用

“有名人のナレーションなど、興味を持てる仕掛けを！”



工事見学ツアー等のイメージ

東武伊勢崎線 浅草駅～とうきょうスカイツリー駅周辺

新たな賑わいと観光回遊
を創出するまちづくり

まちづくりのきっかけ

2020年東京オリンピック・パラリンピックを見据え、東京スカイツリーから浅草間に新たな賑わいの創出と街へと広がる観光回遊性の向上のため、水辺を中心とした鉄道高架下や隅田公園等が整備されました。



出典：国土地理院撮影の空中写真

鉄道高架とまちづくり事例紹介

①

水辺と一体的空間となった 隅田公園



- ・樹木が生い茂り、空が見えず閉鎖的なだった隅田公園に、広大な芝生広場やイベント等で利用できる舗装広場（合わせて「そよ風ひろば」）を整備し、開放的な憩い空間を創出している。

安全で歩きやすくなった 北側道路



- ・暗い印象のあった北側道路は、高架下空間と一体的な道路整備を行い、歩行者にとって安全で歩きやすい道路となった。
- ・店舗が並んだことで明るくなり、楽しみながら歩ける歩行者空間を創出している。

「まちづくりのみまちすみだ」を 発信していく産業支援施設



SHOP&WORKSHOP すみずみを整備

- ・すみだの新たな産業プロモーションの方法を検証する社会実験の場として、整備された。
- ・すみだモダン認証商品をはじめとする区内商品の販売やものづくり体験のワークショップなどを開催している。

まちづくり紹介マップ



護岸の耐震補強工事で生まれた 空間を活用した河川テラス



まちと水辺を繋ぐ北十間川 テラスを整備

- ・護岸の耐震補強工事により生まれた空間を活用し、河川テラスが整備された。
- ・テラスへは橋や北側のまちから直接出入りすることができ、高架下商業施設と一体的な空間を創出している。
- ・四季折々の植物や、周辺空間と統一されたデザインの照明で、夜でも楽しく安心して散策できる空間となっている。

歩いて楽しい空間を創出する 高架下商業施設



東京ミズマチ®を整備

- ・浅草と東京スカイツリーを結び、楽しみながら回遊できるルートを創出するため、高架下に個性的な店舗が集まる商業施設が整備された。
- ・隅田公園や河川テラスに隣接する立地環境を活かし、テイクアウトを楽しめる店舗が出店している。

地域とつながる船着場



浮桟橋型の船着場を整備

- ・防災船着き場としての活用や隅田川を介した舟運を目指し、小型船用の船着場が整備予定となっている。
- ・河川テラスからバリアフリー対応のスロープが設置され、車いすやベビーカーでも利用可能となる予定。

JR中央線 武藏境駅～東小金井駅周辺

街の回遊性、コミュニティ
創出のための高架下活用

まちづくりのきっかけ

中央線によって南北が分断されてきた課題を解決するため、平成6年に三鷹駅から立川駅までの連続立体化事業が行われ高架化されました。高架化を契機に、周辺住民の利便性の向上や街の回遊性、コミュニティ創出を目指し、高架下に広場や商業施設等が整備されました。



鉄道高架とまちづくり事例紹介

②

交通結節点であり、街の顔となつた駅前空間



- ・鉄道高架化を契機に、交通結節点となる駅前広場が整備され、街の顔となる駅前空間が創出された。
- ・駅前の憩い空間創出のため、公園整備が計画されている。

地域に根ざした産業振興を図る拠点施設



- ・小金井市による起業支援や事業所市内定着を目指し、産業振興施設が整備された。
- ・SOHO・インキュベーション施設が設けられ、利用者の事業化サポートや育成プログラムなどが行われている。

安全で歩きやすく、東西の回遊性を高める道路



- ・歩行者が快適に歩けるよう、高架下施設と一体的なデザインの道路が整備された。
- ・南北道路との交差部では、デッキスペースを設け、ゆとりある空間を創出している。

「うるおい」「ふわあい」「かぎわい」みある北口駅前広場



- ・みどりゲートや桜を中心とした植栽など、地域住民の声を反映した駅前広場が整備された。
- ・一方通行だった北口駅前広場はロータリーとなり、歩道も広く歩きやすくなっている。



街の回遊拠点となるモビリティーステーション



- ・自転車等で街の散策を楽しむ回遊拠点として、シェアサイクルポートと気軽に立ち寄れるカフェが整備された。

地域コミュニティを創出する憩い・遊びの公園



- ・高架化前の中央線で使われていたレールや信号機等の鉄道設備を活用した「憩いのひろば」と、木製遊具などが設置された「遊びのひろば」が一体となった公園が整備された。

人々が集い交流が生まれるコミュニティガーデン



- ・多世代が自然と集まり、交流が生まれるコミュニティ広場空間として整備された。
- ・地域活性化イベントとして、植栽植え替え等のガーデニングイベントを実施している。

鉄道高架とまちづくり事例紹介 ③

西武池袋線 石神井公園駅周辺

駅の顔となる新たな街並み
を創出するまちづくり

まちづくりのきっかけ

練馬高野台駅付近から大泉学園駅付近までの約2.4kmについて道路と鉄道との連続立体交差化事業が行われました。高架化によって新たに創出されたスペースやその周辺において衣・食・住と公共機能を備えた複合的な街づくりの一つとして整備されました。



出典：国土地理院撮影の空中写真

鉄道高架とまちづくり事例紹介 ③

気軽に集える賑わい空間の商業施設



集いの商業施設を整備

1

- 駅から石神井公園へつながる“散策の起点”として、高架下施設と連なるカフェや窓ぎのスペース等が整備され、気軽に集える賑わいの空間が創出された。

交通拠点としての機能を備えた北口交通広場



北口交通広場を整備

2

- 道幅が狭く、駅前広場や歩道もない駅前であったが、交通広場や道路が整備され、車両の円滑な通行確保とともに安全な歩行者空間が創出された。

住環境の向上や地域商業の活性化を図る駅前再開発事業

石神井公園ピアレスを整備

3



まちづくり紹介マップ

通勤、通学時利用など利便性が向上した図書受取窓口



図書受取窓口を整備

4

- 図書館利用の利便性を向上させるため、予約した練馬区立図書館資料の受け取りや返却ができる受取窓口が整備された。

高架下と一体的空間となつた南口駅前広場



南口駅前広場を整備

5

- バスやタクシー、一般車が交錯し、歩道も狭かったが、高架下と一体的空間となる南口駅前広場が整備されたことにより、安全な歩行者空間が創出され、公共交通の円滑な乗り換えが可能となった。

安全な歩行空間等の確保に向けた駅周辺道路整備

都市計画道路を整備

6



- 路線バスルートでありながら、道幅が狭く、歩道もない道路だったが、歩道が設置され、歩行者の安全や円滑な車両通行が確保された道路整備を行っている。

押上二丁目でもまちづくりを進めています

東武伊勢崎線連続立体交差事業を契機に、北側の市街地をより魅力的な街にするため、平成26年度にまちづくり勉強会・分科会を立上げ、地域の皆様と一緒に検討を進めてまいりました。

昨年度は「30年後のまちはどうなっていて欲しいか」というイメージを地域の皆様と共有するため「住民アンケート」を実施し、これまでの分科会でのご意見や住民アンケート結果を踏まえた「まちの将来イメージ」を取りまとめました。

今後も引き続き、まちづくり勉強会および分科会にて「まちの将来イメージ」の実現に向けた取組みを行っていきます。

今後のスケジュール



押上二丁目周辺図



防災まちづくり分科会の様子



ワークショップの様子



まち歩きの様子



事例見学会の様子

詳しくは、墨田区ホームページ「鉄道北側市街地のまちづくり」や「押上・とうきょうスカイツリー駅周辺まちづくりニュース」をご覧ください。

https://www.city.sumida.lg.jp/matzukuri/matzukuri_suisin/zigyoubetu/oshi_nari_keikaku/oshiagekitagawa.html



住民アンケートの結果 ①

「共同化などによる中規模建物」を約6割が選ぶ

30年後のまちに相応しい建物の規模について伺いました

建物のイメージ

個別利用による小規模建物



共同化などによる中規模建物



再開発などによる大規模建物



個別利用による小規模建物

18.0%(64)

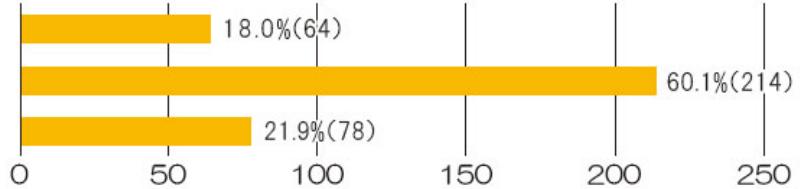
共同化などによる中規模建物

60.1%(214)

再開発などによる大規模建物

21.9%(78)

()は回答者数



「歩行空間等にゆとり」を約8割が選ぶ

30年後のまちの姿として良いと思うものについて伺いました

敷地内や歩行空間にゆとりがあるまち

80.1%(265)

視線を遮るもののが少なく安全・防犯性が高いまち

71.3%(236)

落ち着いた色彩やデザインで統一されたまち

70.1%(232)

植栽などによる潤いがあるまち

62.2%(206)

低層部にぎわいがあるまち

54.4%(180)

建物の高さが揃い統一感があるまち

46.5%(154)

外壁や看板などで色彩豊かなまち

17.2%

()は回答者数



日常から災害時まで活用できる空間を約7割が選ぶ

30年後の公園・広場空間等の使い方として良いと思うものについて伺いました

災害発生時に活用できる空間

79.5%(263)

憩いの場となる空間

77.0%(255)

子どもが安心して遊べる空間

73.7%(244)

祭りや盆踊りなどの地域活動が出来る空間

52.3%(173)

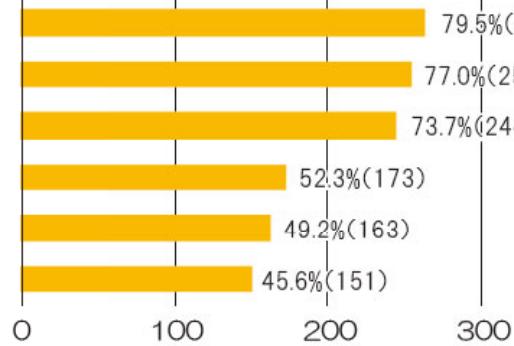
趣のある道路・路地空間

49.2%(163)

マルシェなどのイベントが出来る空間

45.6%(151)

()は回答者数

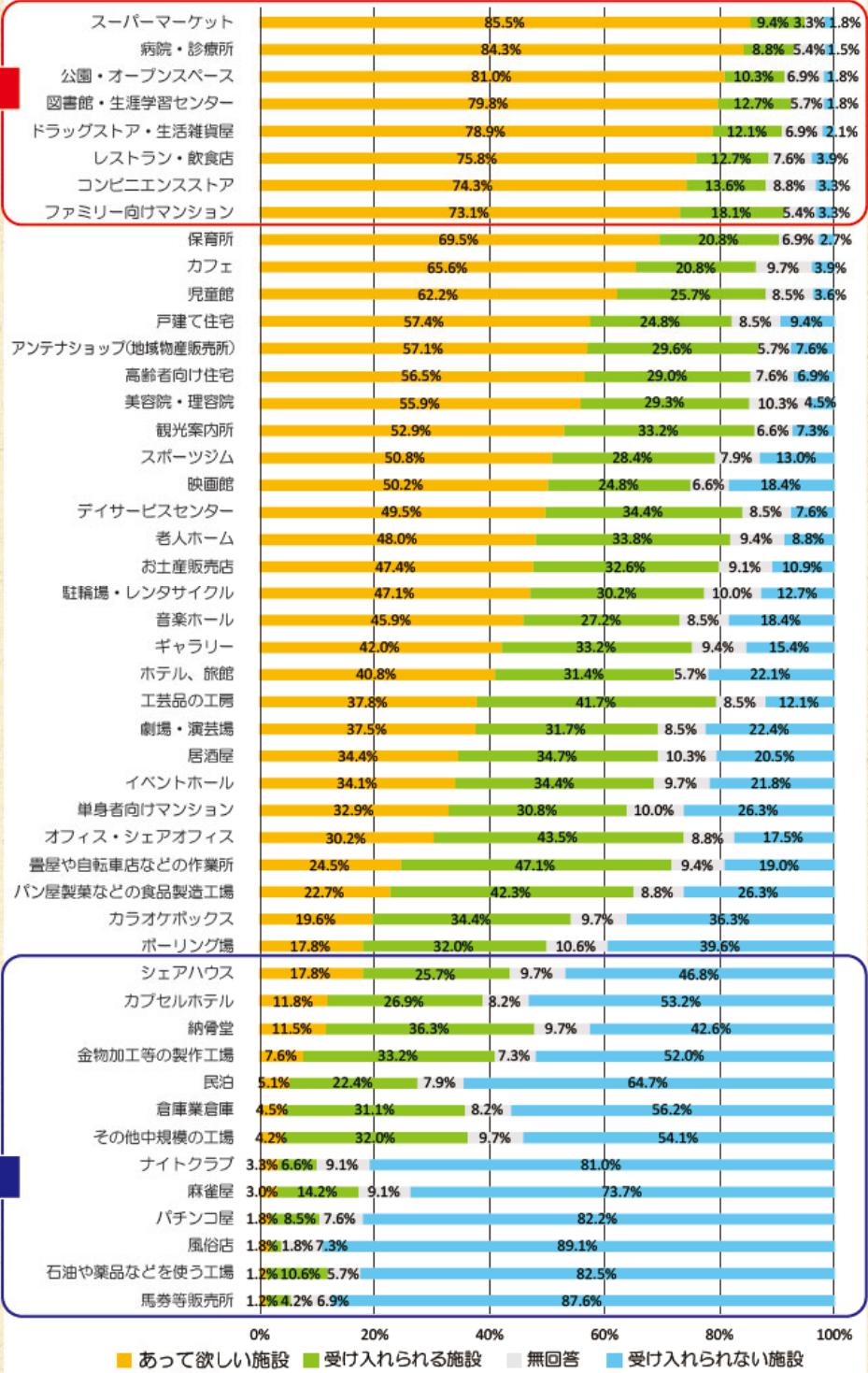


住民アンケートの結果 ②

あつて欲しい上位は「生活利便施設」

風俗店等の施設は受け入れられない

30年後のまちにあつてほしい用途・施設等について伺いました



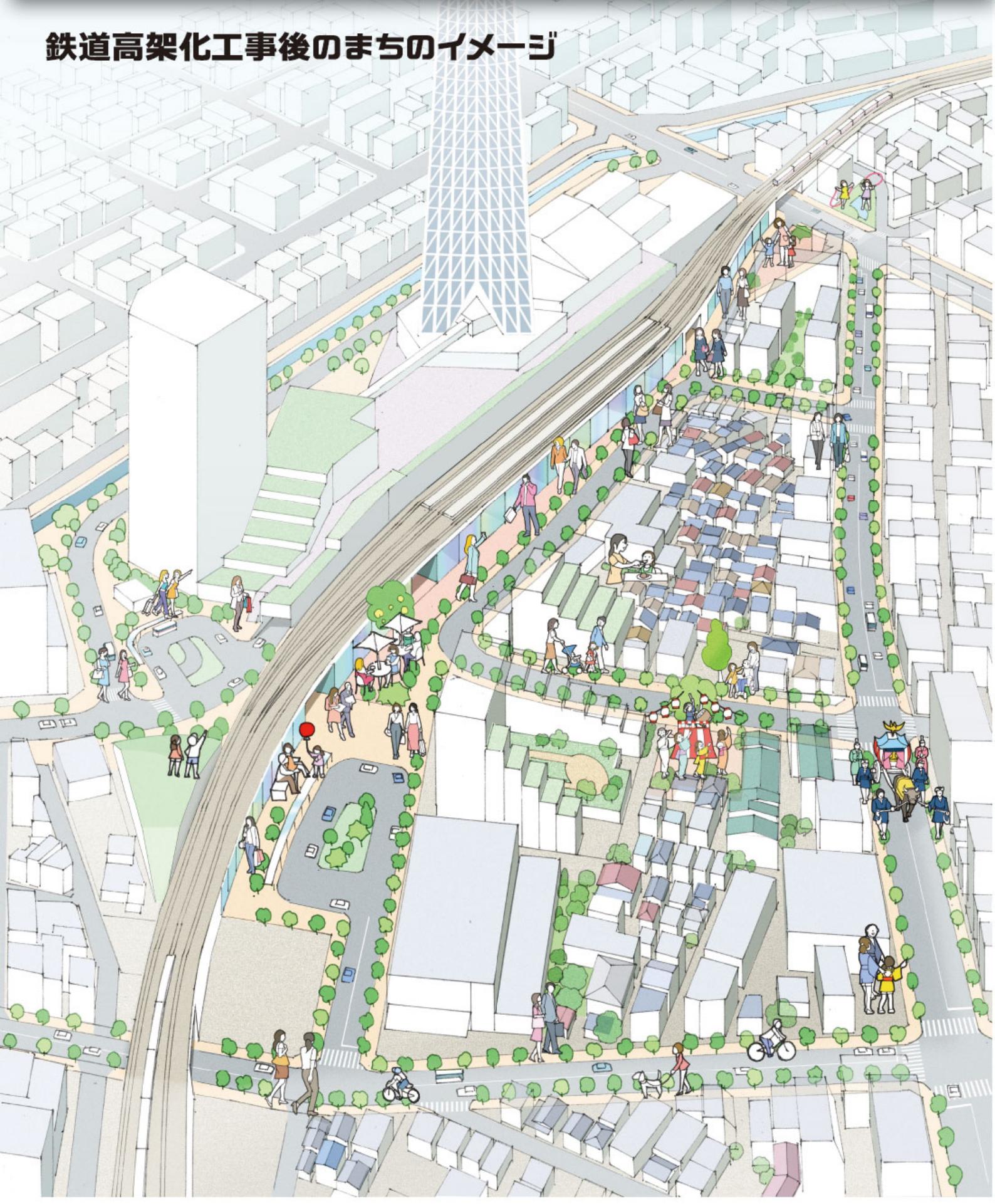
詳しくは、墨田区ホームページ内「押上・とうきょうスカイツリー駅周辺まちづくりニュース（第7号）」をご覧ください。

https://www.city.sumida.lg.jp/matzukuri/matzukuri_suisin/zigyoubetu/oshi_nari_keikaku/oshiagekitagawa.files/news7.pdf



押上・とうきょうスカイツリー駅周辺は どんなまちになつて欲しいですか？

鉄道高架化工事後のまちのイメージ



皆さまのご意見をお貼りください!

建物規模



(例)
災害時にも安心だし
共同住宅かなあ

街並み



(例)
カフェとかがあつて
歩いて楽しい街が
いいな!

公園・広場



(例)
多世代が集まれる
公園があると
いいなあ

用途・施設



(例)
大型スーパーが
あると便利!